

『トラウマから、人目を怖がるようになった娘の変化』

元々、娘は明るく活発な性格で、人前に出るのも平気なタイプでした。そんな娘を見て保育園の先生も「かずちゃんはどこに行っても大丈夫だわ」と、言ってくれました。しかし、幼稚園に入った頃から、周りの目を気にして怖がるようになってしまったのです。

例えば、「幼稚園に行ったら、お花を先生のところに持って行って」とお願いした時、娘は、機嫌が悪くなり、激しく抵抗しました。

「イヤだ、笑われるから、持って行かない」頑として、拒みました。

こんな調子で、幼稚園で目立ってしまうようなことは、絶対にしません。ワンワン泣きじゃくることもありました。

思い返せば、幼稚園に入って早々、しょんぼりして帰ってくるのが立て続けにありました。理由を聞いたら、娘にとって納得のいかないようなことがあり、それで心が傷ついていたようでした。

幼稚園の先生の何気ないことばに傷つき、それから時を経ずして、同じ組になった早熟な子からは、いじめのようなことがありました。

私たち親子がセルラスに入ったのは、幼稚園の年長の頃でした。心を閉ざしている娘が、皆の中に入っていけるかどうか心配でした。

案の定、セルラスに入ってから、皆の前でするワンマンロールプレイ(※)など、絶対にやりませんでした。私は同じような年の子が、堂々と発表などをしている姿をただまぶしく見ていました。

※)ワンマンロールプレイ:セルラスオリジナルストーリーを実際に

動いて行うにあたって、物語を立体化させるために、それぞれの役に分かれて、その人物の感情や背景などイメージを一人で表現する。

セルラスに入って一年経とうとしていた頃でした。
イベントがあり、娘は、初めて一人でプレゼンテーションをすることになりました。
娘より年下の子でさえも一人で挑戦する中、
『うちの子だけは親子で一緒に…』というのは許されません。

ついに娘に順番が回ってきました。
イヤイヤながらも一人で皆の前に立ったのですが、
緊張のあまり固まり、泣き始めてしまいました。
それでも、皆に励まされて、娘なりに頑張ってプレゼンをやりました。

娘からしたら、相当、緊張していたと思います。
私も見ていて、心臓がバクバクして、足もガクガク震えてしまいました。

娘のプレゼンテーションが終わると、皆が盛大に拍手してくれました。
こわばっていた娘の表情は、満面の笑みに変わっていました。

それからは自信がついて、皆の前での発表も自分から「やる」と言うようになりました。
セルラス以外の場所では、まだ人目を怖がり「イヤだ」と抵抗することもあります、
少しずつトラウマを克服しつつあります。

先日の授業参観では、授業中に手を上げて発表していました。
そんな娘をみて、思わず涙腺がゆるんでしまいました。